

(28) ゆり

病害虫	防除法	参考事項								
茎腐症(リゾープス菌)	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 定植前にフロンスайд粉剤を全面土壌混和する。 2 定植後の防除には、フロンスайдSCを土壌かん注する。	○ 茎葉、鱗茎が腐敗する。茎葉では地際部に褐色水浸状の病斑が現れ、軟化腐敗する。								
茎腐病	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 発生初期に下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>トップジンM水和剤</td><td></td></tr><tr><td>リゾレックス水和剤</td><td></td></tr><tr><td>オーソサイド水和剤80</td><td>ゆりでは別の登録内容となっているので注意する。 ゆりは立枯病・茎腐病・苗立枯病での登録はなし。</td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	トップジンM水和剤		リゾレックス水和剤		オーソサイド水和剤80	ゆりでは別の登録内容となっているので注意する。 ゆりは立枯病・茎腐病・苗立枯病での登録はなし。	
薬剤名	備考									
トップジンM水和剤										
リゾレックス水和剤										
オーソサイド水和剤80	ゆりでは別の登録内容となっているので注意する。 ゆりは立枯病・茎腐病・苗立枯病での登録はなし。									
炭疽病	(耕種的・物理的防除) 1 種球では、植付前に病斑のあるりん片を取り除く。									
葉枯病(ボトリチス菌)	(耕種的・物理的防除) 1 施設では換気を良くし、発病株は速やかに抜き取り深く埋没する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 梅雨期ころから7～10日おきに数回下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>アフエットフロアブル</td></tr><tr><td>ダコニール1000</td></tr><tr><td>フルピカフロアブル</td></tr><tr><td>ポリオキシシンAL水溶剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名	アフエットフロアブル	ダコニール1000	フルピカフロアブル	ポリオキシシンAL水溶剤				
薬剤名										
アフエットフロアブル										
ダコニール1000										
フルピカフロアブル										
ポリオキシシンAL水溶剤										
ウイルス病	(耕種的・物理的防除) 1 繁殖用の子球、球芽は健全株から採る。 2 発病株は見つけ次第抜き取る。 3 寒冷紗等で有翅アブラムシの飛来を防ぐ。 (薬剤防除) 1 本項のアブラムシ類の防除 に基づき防除を行う。	○ アブラムシ類が媒介するCMV、LSVほか、数種のウイルスが感染する。複数のウイルスが重複して感染し、葉身のモザイク、褪色、湾曲、黄色条斑、えそ病斑、株の生育不良等、激しい症状となる。								

病害虫	防除法	参考事項																															
アブラムシ類	(耕種的・物理的防除) 1 育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅成虫が飛来していないか確認する。 2 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。 3 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。 4 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 気門封鎖剤 <table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>エコビタ液剤</td><td></td></tr><tr><td>ムシラップ</td><td>発生初期</td></tr></table> 2 自然くん煙 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>マブリックジェット</td></tr><tr><td>モスピランジェット</td></tr></table> 3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布又は処理する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>オルトラン粒剤</td></tr><tr><td>オンコル粒剤 1</td></tr><tr><td>アクタラ粒剤 5</td></tr><tr><td>アドマイヤー 1 粒剤</td></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td></tr><tr><td>ベストガード粒剤</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td></tr><tr><td>マラソン乳剤</td></tr><tr><td>アディオン乳剤</td></tr><tr><td>アーデントフロアブル</td></tr><tr><td>スカウトフロアブル</td></tr><tr><td>ロディー乳剤</td></tr><tr><td>ロビンフッド</td></tr><tr><td>アドマイヤーフロアブル</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td></tr><tr><td>ベストガード水溶剤</td></tr><tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td></tr><tr><td>コルト顆粒水和剤</td></tr><tr><td>チェス顆粒水和剤</td></tr></table>	薬剤名	備考	エコビタ液剤		ムシラップ	発生初期	薬剤名	マブリックジェット	モスピランジェット	薬剤名	オルトラン粒剤	オンコル粒剤 1	アクタラ粒剤 5	アドマイヤー 1 粒剤	ダントツ粒剤	ベストガード粒剤	スタークル/アルバリン粒剤	オルトラン水和剤	マラソン乳剤	アディオン乳剤	アーデントフロアブル	スカウトフロアブル	ロディー乳剤	ロビンフッド	アドマイヤーフロアブル	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	ダントツ水溶剤	ベストガード水溶剤	モスピラン顆粒水溶剤	コルト顆粒水和剤	チェス顆粒水和剤	○ くん煙剤の使用については、共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用法の項を参照する。
薬剤名	備考																																
エコビタ液剤																																	
ムシラップ	発生初期																																
薬剤名																																	
マブリックジェット																																	
モスピランジェット																																	
薬剤名																																	
オルトラン粒剤																																	
オンコル粒剤 1																																	
アクタラ粒剤 5																																	
アドマイヤー 1 粒剤																																	
ダントツ粒剤																																	
ベストガード粒剤																																	
スタークル/アルバリン粒剤																																	
オルトラン水和剤																																	
マラソン乳剤																																	
アディオン乳剤																																	
アーデントフロアブル																																	
スカウトフロアブル																																	
ロディー乳剤																																	
ロビンフッド																																	
アドマイヤーフロアブル																																	
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																																	
ダントツ水溶剤																																	
ベストガード水溶剤																																	
モスピラン顆粒水溶剤																																	
コルト顆粒水和剤																																	
チェス顆粒水和剤																																	

病害虫	防除法	参考事項		
ネダニ類	(耕種的・物理的防除) 1 寄生していない種球を植える。 2 ユリ、ネギ、ムギ類等寄主作物の連作を避ける。 3 貯蔵球根の温湯消毒(45℃、60 分)を行う。 4 土壌の高温、乾燥条件で死滅するので、夏期ハウス密閉、フィルムマルチ被覆による太陽熱処理を行う。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 以下薬剤を処理する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>ネマキック粒剤</td></tr></table>	薬剤名	ネマキック粒剤	○ 球根貯蔵中に、高温多湿条件下で活発に活動し、被害が著しい。 ○ 本ぼでは地表面～地下 10cm の根部に多く寄生する。 ○ ダニが腐敗病菌を伝搬し、発病を誘発する。
薬剤名				
ネマキック粒剤				